

2014年2月5日
木材流通検討会

JAPICによる市況変動の分析調査について

1. 趣旨

2013年後半からの国産材原木の価格高騰、素材不足は今後の国産材業界の中での信頼度に関してマイナスに作用する懸念が大きい。相場商品であり、需給バランスの中で価格が上下するのは仕方がないとしても、価格が安定しない、供給も安定しないというのは、川下のユーザーからみて、安心して国産材にシフトしていく上でマイナス要因になると思われる。

また、今回の価格高騰については、国有林情報等でも素材の出材はそれほど落ち込んでいないにも関わらず物不足により価格の高騰を招いたことから、その原因を分析、究明することが安定供給をして価格を安定させるための方法を検討する上で意義があると考えられる。

JAPICの森林研メンバーの内外で、業界各所から情報、意見を取り寄せてこの分析を十分行うこととしたい。

2. 調査の進め方

(1) アンケート調査

○対象

- ・ 国有林
- ・ 都道府県（ランダム）
- ・ 民間業者（素材生産業者、大規模山林所有者）
- ・ 合板工場（日合連）
- ・ 製材工場（各メンバーの取引先等）→大規模工場、中小工場の動きも掴みたい。

○調査項目

- ・ 2013年11月頃の具体的数字（前年同時期と比較して変わったところ）
- ・ 価格の動き、荷動きに関して感じたことなど

(2) アンケートの集まり具合を見ながら仮説を立て、さらにデータを集めるか裏付けをとる。

(3) 学識経験者（先生）の意見を聞く。

以上

2014年3月〇日

〇〇御中

(一社) 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC)
森林再生事業化委員会/木材流通検討会

国産材市況変動分析調査ご協力のお願い

拝啓 余寒の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、JAPICでは、2013年後半からの国産材の大幅な価格変動（高騰）について、木材価格と需給の関係を究明するため、林業・木材関係の事業体の皆様を対象にその実態を調査させていただくことにいたしました。

木材価格と需給の関係を究明を、国産材の安定価格、安定供給の実現につなげる手段にしたいと考えます。木材業界の中での国産材の信頼回復、政府の目標である国産材自給率50%へ道筋をつけるものとなり、わが国の森林・林業の発展に資するものと考えております。

つきましては、年度末のご多用のところ恐縮ですが、別紙に調査票を用意いたしましたので、下記の要領にてお答えくださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 回答は、同封しました調査票に直接ご記入ください。
2. 回答は、返信用封筒に入れ、〇月〇日までにご返送ください。
3. ご回答いただいた情報は、本調査の目的以外には使用しません。
4. この調査に関して不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

JAPIC 森林再生事業化委員会 事務局
〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10
鉄鋼会館 6階
Tel :03-3668-2885 Fax:03-3668-8718
Mail :shinrin@jpic21.or.jp

以上